

かつしか愛

熱い想いをお届けします

葛飾を良からめよう

2025年版 葛飾区協働事例集

葛飾区協働事例集

発行日: 令和7年3月

発行: 葛飾区

〒124-8555 東京都葛飾区立石5-13-1

電話 03-3695-1111 (代表)

<https://www.city.katsushika.lg.jp/>

編集: 葛飾区政策経営部政策企画課

電話 03-5654-8177 (直通)

取材・編集・デザイン: 株式会社 社会構想研究所



葛飾区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

協働サイトはこちら!



▲区公式HP



▲Youtube



▲facebook



▲Instagram

この冊子は、印刷用の紙へリサイクルできます。

目次

CONTENTS

身体を動かしてみんな笑顔、 来た時よりも元気になる体操教室	あおぞら	P.19
障害のある人に豊かな余暇を くつろげる場所と、アクティブな自主活動	NPO法人 未来空間ぼむぼむ	P.21
東四つ木のつながり拠点、 高齢者も園児もなごやかに交流する場	東四つ木ハーブさくら会	P.23
地元で根差した学園で充実の公開講座 大学の知識を地域へ、人生を豊かにする学びの場	学校法人 共栄学園	P.25
いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも 卓球は最良の生涯スポーツ	葛飾区卓球連盟	P.27
協働推進担当からのお知らせ		
▶「葛飾らしい協働」の輪を広げていくために		P.29
▶協働のまち葛飾 下町川柳コンクール		P.31
▶葛飾区職員出前講座		P.33
▶動画で見る! 葛飾区の協働		P.34
▶葛飾協働まちづくり表彰		P.35
▶葛飾みんなの協働サイト		P.36
SDGs推進担当からのお知らせ		
▶協働を進め さらに持続可能な 葛飾へ		P.37
社会福祉協議会からのお知らせ		
▶ボランティアやNPO活動についての相談窓口		P.39

葛飾らしい協働		P.1
区長あいさつ		P.2
かつしか発 地域の知と技が生んだ立体花壇	フラワーメリーゴーランド協議会	P.3
子どもの困難は未来の困難 地域で1ミリでも社会を変えたい	NPO法人 レインボーリボン	P.5
つながりが育むやさしい地域支援の輪 保護者に寄り添い「孤」育てを解消	社会福祉法人共生会 希望の家	P.7
幅広い年齢の子たちが奏で育ちあう 音楽の楽園へようこそ!	葛飾吹奏楽団ジュニアバンド	P.9
地域に親しみながら日本語学習を 大切なのは外国人親子の居場所であること	なかよし	P.11
イベントは地域愛を育むきっかけ、 つながりを次世代へ 新しい住民と地域をつなぐ「金町フェスタ」の取組	ヴィナシス金町ブライトコート商店会 ベルトーレ金町商店会	P.13
新小岩をきらめかせたい! 地元住民と外部参加者の熱でイベントが成長	きらめきの街・ 新小岩南地域実行委員会	P.15
冬の帰り道もどこか楽しい イベントを通して新小岩の魅力アップ	きらめきの街・ 新小岩北地域実行委員会	P.17

—— 葛飾区協働事例集の発行にあたって ——



葛飾区は、人情にあふれ、地域内での人と人とのきずなが強い土地柄です。そのため、かねてより様々な人や団体、工業、商業、農業をはじめとする区内産業に携わる方々などにより、地域を良くしようとする活動が連携して行われてきました。

このきずなによる活動は、現在に至っても脈々と受け継がれています。この特色を大切にするとともに、さらに大きく発展させて、本区との

関わりのある方々や団体、事業者の皆様がそれぞれの特色を活かして協働することにより、地域を良くしようという活動はより一層の効果をあげることができます。

そして、この協働の取組が広がり、積み重ねられていくことにより、「夢と誇りあるふるさと葛飾」を築くことができると考えています。

現在も様々な形で協働による素晴らしい活動や事業が活発に行われています。そのごく一部ではありますが、皆様にご紹介したいと考え、13団体に取材をさせていただきました。

今回で11冊目の発行となりますが、ご紹介した方々をはじめ、各方面の皆様からの反響も大きく、喜んでいただいております。今年も、この事例集により、本区で行われている協働の取組やそれに携わる方々の熱い思いなどを皆様にお伝えし、一人でも多くの方に地域を良くする活動に関心を持っていただき、また、参加していただけるようになればと考えております。

最後になりますが、本事例集の作成にあたって取材にご協力いただいた皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。

令和7年(2025年)3月

葛飾区長 **青木 克徳**

葛飾らしい協働

葛飾区では、

区と区民の皆様との連携に限らず、

区民の皆様が「より良いまちにしよう」

という思いをもって

日々取り組んでいらっしゃる全ての活動が「葛飾らしい協働」であると考えています。

区民、事業者、団体等の多様な皆様が、

地域を良くしようという思いを持ち、

お互いに理解・尊重し合いながら活動することが、

「夢と誇りあるふるさと葛飾」を

実現していくための一歩となります。

皆様一人一人の「より良いまちにしよう」

という思いを「協働の活動」につなげつつ、

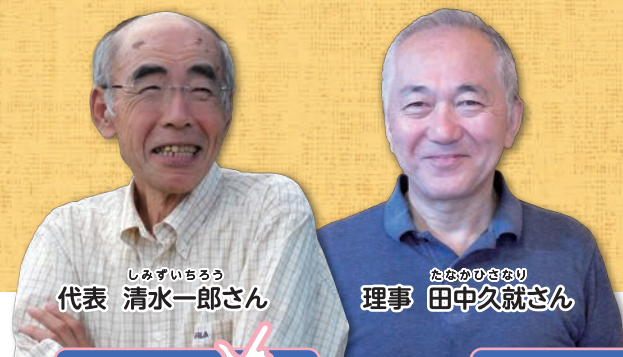
その活動の輪を広げていきましょう。

地元の人のつながりが生んだ傑作
今後も新しいアイデアを生み出したい

フラワーメリーゴーランドは、人と人とのつながりの産物です。花壇を立体的にしたいというアイデアができたときに、都市防災の観点から雨水利用の製品を開発している堀切にある会社や、亀有にある都立農産高校、かつしか花いっぱいのみちづくり推進協議会の有志などが協力して、まったく新しいものを考案しました。

企画会議で改良案が出るとすぐに、時にはその場で試作するようなフットワークの軽さが強みです。区と協力して「社会実験」を進めることができたので、区内外のいろいろなところに広がりました。

今後この技術を活用して、トマトや苺などの果実を育てることに活用できないかと思っています。子どもの顔の高さに果物が育てば、食育にも広げることができるかもしれないですね。



代表 清水一郎さん

理事 田中久就さん

ポイント 1

他に例を見ない斬新な発想

ポイント 2

区内の産官学が力を合わせて

ポイント 3

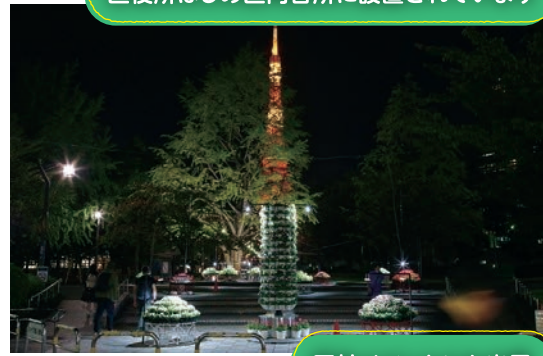
葛飾から全国に花いっぱい届ける



太陽光パネルで水やり等の電力を確保します



区役所はじめ区内各所に設置されています



区外イベントにも出展



フラワードレス

日比谷公園ガーデニングショー

フラワーメリーゴーランド協議会

かつしか発

地域の知と技が生んだ立体花壇。

東京2020大会のレガシー「有明聖火台」



「フラワーメリーゴーランド」は、太陽光発電による自動水やり機能を備えた円筒形の立体花壇です。区の主要駅や区役所などに設置され、訪れる人々の目を楽しませていきます。この立体花壇は、かつしか花いっぱいのまちづくり推進協議会のプロジェクトチームで考案されました。

その一部のメンバーによりフラワーメリーゴーランド協議会が設立され、製造されています。区内企業が開発した雨水タンクを流用し、軽量の金属フレームと回転機能を持ち、花々が均等に日光を浴びる工夫が施されています。

東京2020オリンピック・パラリンピックでは、シンボルプロ

ムナード公園の聖火台の周辺に17基が配置されるなど、会場を彩りました。派生型の「フラワードレス」「フラワーキャンバス」も登場し、令和5年の都立公園開園150周年イベントでは、芝公園の景観と重ねた「映えスポット」として話題を呼びました。

令和8年度には、全国初の緑花イベントである「全国みどり」と花のフェアかつしかが開催され、さらに多くの人に花と緑の魅力を発信する計画です。フェアは区全体を花で彩り、緑化関係者が集う「全国みどりの愛護のつどい」も開催されます。

フラワーメリーゴーランドも多数展開し、新たなまちづくりが進んでいくことでしょう。

関連する主なSDGsゴール



10年間で卒業、と思っていたけど
まだやめられませんね

平成26年に「子どもの貧困対策法」
ができたとき、私たちにも何かできるこ
とはないかなと思いました。

PTA活動をしているとき、家庭の事情
で給食がない夏休みには栄養がある
ご飯を十分に食べられない子どもや家
庭に居場所のない子どもがいることを
知りました。

困っている子どもがいるのに、家庭
の問題だからと放っておけないと思い、
栄養のあるご飯が食べられて、子ども
が安心して過ごせる場所として、子ども
食堂を始めました。

活動を始めたときは、無我夢中で手
探り状態でした。悩み、楽しみながら
10年続けてこれたのも、ボランティア
や地域の方をはじめとする多くの方の
助けがあったおかげ。
これからも子どもの
笑顔のため、活動
をつづけていきたく
と思っています。

代表 おがた みほこ
緒方美穂子さん



子ども食堂のお弁当と学びコーナー



いじめ
▼防止教室



フードパントリーの配布は月2回



ポイント1

子ども、子育て家庭を
孤立させない

ポイント2

必要な家庭への物資支援

ポイント3

支援の輪の広がり
地域の協力

NPO法人
レインボーリボン

子どもの困難は未来の困難

地域の方で1ミリでも社会を変えたい

レインボーリボンは、小学校の
PTA活動で出会ったお母さん
たちが、子どもや子育て家庭を応
援したいとの思いから活動が始
まりました。

平成28年からは、「ひとりぼつ
ちのご飯をなくしたい」、「遊び相
手や相談相手がない子どもの
居場所をつくりたい」と考え、子
ども食堂をスタートしました。ま
た、様々な事情で十分な食料を確
保できないご家庭にお米や野菜、
オムツなどの日用品を配布する
フードパントリーも実施してい
ます。コロナ禍においても、地域
で子どもや子育て家庭が孤立し
ないように、家庭に食材を宅配す
るなど様々な方法で「つながり」



を守ってきました。
悩み、楽しみながら模索し、地
域で活動を続けてきたレインボ
ーリボンは法人化から10年。今で
は、多いときには100名以上の
子どもや保護者・ボランティアが
参加し、地域の交流の場となつて
います。子ども食堂に来ていた小
学生が大学生になって、学習支援
のボランティアスタッフとして
参加したり、近隣の農家の方から
野菜やお米の提供があったり、支
援の輪も年々大きくなり、地域の
力で、子どもや子育て家庭を支
援しています。

関連する主なSDGsゴール



保護者を支えることは、 子どもを支えること

希望の家は、家庭で生活することが困難な子どもが保護者から離れて入所し、生活を送る児童養護施設です。私自身ケアワーカーとして子どもと接していた時、入所する背景やその子の家族に対する気持ちに触れ、何かできることがあったのではないかと思います。現在、ホームスタート事業の担当になり、どのようにして保護者に手を差し伸べられるのか視野を広げて考えるようになりました。

ホームスタート事業を通じて、親御さんに「一人ではない」、「助けを求めてもいい」ということを知っていただきたいと思っています。今、大変な思いをしている人に寄り添い、一緒に一歩踏み出すことが、私たちの役割だと思います。



つながりが育むやさしい地域支援の輪 「孤」育てを解消

「希望の家」は、子どもの健全な成長を支える児童養護施設です。施設での養育だけではなく、さまざまなサポートを提供しています。開設以来、周囲とのつながりを大切にし、地域に溶け込んだ活動を展開しています。

平成24年度から始まった「ホームスタート事業」は、子育ての孤独や不安を抱える妊婦や未就学児のいる家庭を支える、訪問型の子育て支援です。研修を受けた「ホームビジター」というボランティアが週1回2時間程度訪問し、保護者の思いに共感しながら家事や育児と一緒にいきます。まるで「気のおけないご近所さん」のように寄り添うことを大切に

し、助言ではなく共感を重視しています。

この背景には「子育ては一人ではできない」という共通の思いがあります。ビジターは自身の子育て経験を活かして活動し、かつて利用者だった方が恩返しのかたちでボランティアになるなど、支援の輪が広がっています。

ホームスタート事業を通じて親が自信を取り戻し、人や地域資源とつながることで、虐待の発生防止にも寄与しています。「孤独が和らいだ」「応援者がいると思えた」といった声も寄せられ、この活動は家庭と地域を結び一歩な



ポイント1
保護者に寄り添い
支援する

ポイント2
私はひとりじゃない、
と思えるようになる

ポイント3
地域のつながりが
生まれる

地域に音楽を届けていきたい

ジュニアバンドの特長は、音楽の経験がなくても、小学3年生から参加できるということです。先輩の団員は新入生を弟や妹のように優しく受けいれます。できることから始めて、学び、成長していく。この経験が生涯を通じて支えになると思います。

活動は保護者による「友の会」が支えています。楽譜の準備、会場の手配、公演当日の準備、後片付けや書類の作成など。その姿を見て団員達は、自分たちのためにお父さんやお母さんが手伝ってくれていることを実感し、感謝と奉仕の気持ちが身に付きます。

子どもたちが、ここに来れば音楽ができると思うこと。地域のあちこちに、いつも音楽があふれていること。「音楽のまち・葛飾」を支える存在でありたいと思っています。

楽団長 **菊入 栄さん**

いつでも団員募集中。一部の楽器は貸与できます

ポイント1

まったくの初心者でOK

ポイント2

地域での音楽活動がいっぱい

ポイント3

友達がたくさんできる



演奏中に大集合！
明るい笑顔の団員たち



マーチングバンドとの共演。
菖蒲まつりパレード



休日の朝も笑顔。活動を支える
友の会運営のみなさん

正装の赤ブレザー



みんなで揃ってリズム練習



年度末の定期演奏会、ハートフルコンサート
時期的にこれが区切りで卒団の子も



ハートフルコンサート

葛飾吹奏楽団
ジュニアバンド

幅広い年齢の子たちが奏で育ちあう

音楽の楽園へようこそ！

葛飾吹奏楽団ジュニアバンドは、令和7年1月で20周年を迎えました。小学3年生から中学3年生までの子どもたちが在籍し、地域イベントやコンサートで楽しみながら成長を続けてきました。年間約10回、シンフォニーホールやテクノプラザを中心にコンサートを開催。子どもまつりや菖蒲まつり等に出演するほか、「交通安全ハッピーライブ」では交通安全の啓発も行っており、地域とのつながりを大切にしています。吹奏楽コンクールやアンサンブルコンテストにも毎年挑戦し、金賞3回、銀賞16回、銅賞14回という実績を重ねてきました。

音楽教育へのこだわりも、ジュニアバンドの特徴です。小学生と中学生が共に活動することで生まれるリーダーシップや助け合いの精神は、演奏を超えた成長を促します。指導者は「音を出せたら万歳」という柔軟な姿勢で団員の意欲を引き出し、「好きになるまで引く張る」のがジュニアバンド流。この音楽体験が、家族の会話を彩ることも多いそうです。

卒団員から音楽家も輩出しているというジュニアバンド。葛飾の子どもたちが世界に音楽を広げていきます。

関連する主なSDGsゴール



子どもに寄り添い ともに学んでいきたい

外国にルーツのある子どもと接してわかったのは、学校に行っても同級生たちとコミュニケーションが取れないことが不登校原因のひとつになっているということでした。そこで、子どもたちが日本語でコミュニケーションが取れるように支援する、という目標が生まれたのです。

大人は「働く」という目的があって来日するので、日本語学校でも意欲的に学び、習得も比較的早いのですが、親と一緒に来た子どもは、いろいろなストレスもあって意欲を持ってないこともあります。そういう子どもたちに「教えてあげる」のではなく寄り添い、ともに学ぶという姿勢で取り組んでいます。

「なかよし」ならではの自由さ、柔軟さをもって、これからも子どもたちの居場所として続けていきたいと思っています。



代表 浦山太市さん



先生はいつも前向き
いつも子どものことを
気にかけている浦山さん

ポイント1
学びと遊びと日本語で
居場所づくり

ポイント2
同じ母語の同世代と
つながりを持てる

ポイント3
保護者のコミュニティも
生まれる



ボランティア先生と一緒に勉強

遊びながらだったら楽しいね



漢字をいっしょに読んでみたり



先生はいつも前向き

なかよし

地域に親しみながら日本語学習を

大切なのは外国人親子の

居場所であること

「なかよし」は、外国にルーツを持つ子どもたちが日本語を学び、安心して過ごせる場を提供する日本語教室です。その始まりは、代表の浦山さんが退職後に「日本語がわからず困っている子どもたちのために居場所を作りたい」と考えたことがきっかけでした。不登校の子どもたちと関わる中で、日本語の理解不足が学校生活での孤立につながる可能性があると感じた浦山さんは、平成22年に「なかよし」を立ち上げました。

土・日曜には区内の小学校や公民館に子どもたちが集まり、ボランティアと一緒に学校の宿題や日本語の勉強に励んでいます。

ここはただの勉強の場ではなく、母語で話せる仲間と語り合った、休み時間に校庭や河川敷で遊んだり、子どもたちがリラックスして過ごせる「居場所」です。また、地域のお祭りなどに参加するなど、日本文化を体験する機会も用意されています。

子どもだけでなく送迎する保護者がひと息つく時間にもなっています。親子とも「ここに来れば大丈夫」と安心して通える場を守るために、メンバークやボランティアは日々のサポートを欠かせません。「子どもたちが自ら考える力を育ててほしい」と願い、人と人とのつながりを大切にする環境づくりを重視しています。

関連する主なSDGsゴール



住みよい街、愛着ある街にしたい

再開前には、個人商店がたくさんありましたが、現在は全国チェーンのお店も増えて、商店会の構成も大きく変わりました。

どうしたら各店舗が商店会の活動に参加してくれるかと考え、役割を細かくマニュアル化したり、会議に参加してもらう工夫をしました。仕事量が把握しやすくなったので、以前よりも協力してくれる店舗が増えました。また、2つの商店会でフェスタを実施することで、互いに協力しながら、刺激し合える仲というのも良いですね。

私たちはイベントではありません。イベントを通じて、ここに住む人たちが金町への愛着を強くしてくれること、ここで育った子どもたちが将来、また金町に住みたいと思ってくれること。そのことが私たちの喜びです。



運営を支えるボランティア

金町に笑顔があふれる

たくさんの参加で盛り上がるハロウィンイベント

ヴィナシス金町
ブライトコート商店会
・
ベルトレ金町商店会

イベントは地域愛

を育むきっかけ、
つながりを次世代へ

新しい住民と地域をつなぐ

「金町フェスタ」の取組

ヴィナシス金町ブライトコート商店会(平成24年設立)とベルトレ金町商店会(令和3年発足)は、金町駅南口の再開発で誕生した複合ビルに入居する店舗で構成され、地域活性化を目的にさまざまなイベントを開催しています。中でも、毎年秋に開催される「金町フェスタ」ハロウィンパーティー(仮装DE集まれ!)は、新たに金町に引っ越してきた住民が地域に根付くことを目指した人気イベントです。

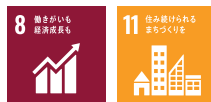
このフェスタは平成24年、東日本大震災の復興支援を目的とした「ブライトフェスタ」が始まりです。開催を重ねる中で、地元の小

中学生や大学生が参加するアカペラや吹奏楽が加わり、地域交流の場へと発展しました。

平成30年からは秋のイベント「ハロウィンパーティー」が始まり、仮装パレードが定着。商店会自身、「おうさま」というキャラクターに扮して会場を盛り上げ、毎年子どもたちに大人気です。運営に協力する地元の東京理科大学の学生は参加者と積極的にふれあい、世代を超えた交流が地域の一体感を深めています。

コロナ禍で一時中断しましたが、令和4年、3年ぶりに復活。「金町ってこんなに楽しいところなんだ」と思える場を提供し、商店会と住民を日常的につなげる工夫が続けられています。

関連する主なSDGsゴール



ヴィナシス金町ブライトコート商店会会長 田口 学さん

ベルトレ金町商店会会長 井手 和秀さん

ポイント1

地域の子どもや若者が積極的に参加

ポイント2

全会員が役割を担う

ポイント3

金町の魅力向上

最初は「イルミネーションがきれいだね」
だけだったけど、いろんな変化が起こった

新小岩駅周辺は、かつては治安が良くないイメージがありました。そんなことではいけないと、まちづくりに関わってもう40年近くになります。

最近では、会社を定年退職したかつての友人が地域に戻ってきているので、この仲間たちと一緒に新小岩を盛り上げていこうと、頭の中では常に新小岩のことを考えています。

一方で、「使命感」だけでやるのは、ちょっと違うと思っています。いろいろなことに挑戦して、新しい出会いがあって、そしてまちもにぎわう。そういうまちづくりが理想です。

最近では、チェーン店やワンルームマンションが増えたりして、商店会や町会活動も変わっていくとおもいます。そういう変化も楽しんでいければと思っています。



マルシェの盛り上がり



音楽隊による演奏



学生によるミニコンサート



きらめきの街・新小岩南地域実行委員会の皆さん



◀伊藤さんと関さん、
同じ小学校出身で
動きもびったり。



昼間はマルシェ



楽しい新小岩南口の冬

夜はイルミネーション

©Sekiguchi



きらめきの街・
新小岩南地域
実行委員会

新小岩をきらめかせたい！

地元住民と外部参加者の熱で

イベントが成長

新小岩駅南口で活動する「きらめきの街・新小岩南地域実行委員会」は、地域の活性化と住民同士の交流を目的に、平成31年に設立されました。地元の商店会や自治町会が中心となり、冬のイルミネーションや季節ごとのイベントを企画し、新小岩の魅力を発信しています。

令和6年度のイルミネーションでは「ここにコスタライト」をテーマに、駅前ロータリーの交通島に装飾を施し、家族みんなで楽しめる演出をしました。また、12月と2月には「新小岩えきひろマルシェ」を開催し、地元の商店や生産者が集まり、地域の賑わいを

創出しています。

このマルシェで音楽学校の学生や若手アーティストが自主的にステージを披露することで、自然と「音楽」が南口のテーマの一つとなりました。これにより、若い世代との新たな交流が生まれ、地域全体が活気づいています。

実行委員会は、地域の人々が主体となって動いています。「やらなきゃ」と身構えるのではなく、手がける課題の部分で参加出来る人が集まればいい、というのがメンバーの想い。どのイベントも、地元出身者が支え合い、助け合って運営しているため、新小岩らしい温かさが感じられます。

関連する主なSDGsゴール



いとうまさよし
事務局長 伊藤雅良さん

せき かつお
実行委員長 関一男さん

ポイント 1

光と音楽の街づくり

ポイント 2

多彩な冬のマルシェ

ポイント 3

地元愛で賑わい創出

帰ってきてほっとする街にしたい

私たちの先輩方が10年ほど前に北口の清掃活動を始めました。その頃は、とても雑然とした雰囲気、たばこの吸い殻やごみがたくさん放置されていたそうです。何とかしようと地域のみんなが協力し、清掃活動を進めるうちに少しずつ街の雰囲気が変わっていきました。

1日の勤めや学校を終えて帰ってきたときに、ほっとできる街にしたいと思っています。「きらめきの街」の取組は、1年で1番寒い時期に、せめて心が温かくなれるようにという願いをこめています。町会の活動が、子どもも大人も暮らしやすい街をつくることに役立っているということ、皆さんに知っていただき、さらに町会活動の参加にもつながってくれたらと思います。



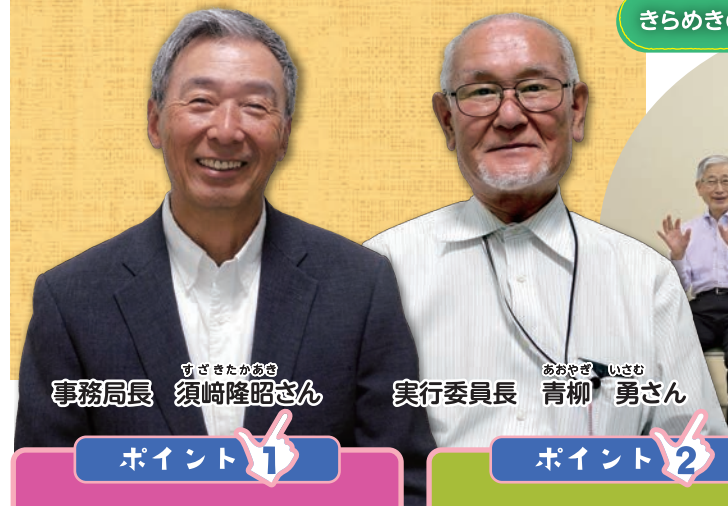
同じく東北広場周辺のイルミネーションたち

©Sekiguchi

スカイデッキたつみもあたたかな雰囲気



きらめきの街・新小岩北地域実行委員会の皆さん



事務局長 須崎隆昭さん

実行委員長 青柳 勇さん

ポイント1

地域の光で賑わい創出

ポイント2

ほっとする街づくり

ポイント3

住民協力で絆を強化

きらめきの街・
新小岩北地域
実行委員会

冬の帰り道もどこか楽しい

イベントを通して 新小岩の 魅力 アツプ

新小岩駅北口に灯る冬の風物詩、イルミネーション。「きらめきの街・新小岩北地域実行委員会」が、地域のにぎわいと温かさを増やすために取り組むイベントです。地元自治町会や商店会、駅、近隣大学が協力し、駅北口からスカイデッキたつみ、東北広場にかけてエリアを光で彩っています。

この活動は平成31年度にスタートし、以来、寒さ厳しい冬の夜に、きらびやかな灯りで街を暖かく包んできました。令和5年度には人気キャラクターモンチッチのオブジェも登場し、新たな魅力が加わりました。12月から2月まで、午後5時から11時の間に灯る輝き

は、駅に到着した人々に「おかえりなさい」のようなほっとする感覚を届けています。光が人々の足を止め、賑わいをもたらします。新小岩の街づくりイベントでは、小・中学生や地元のボランティアも積極的に参加しています。「あそびばプロジェクト」では、子どもたちが楽しめる空間が提供され、新しい活気が生まれています。若者やファミリー層、さらには新しく転入してきた住民とも、イルミネーションが地域の結束を強め、街を大切に作る気持ちを育む役割を果たしています。



関連する主なSDGsゴール



身体を動かして、笑って、おしゃべり。
元気をもらえる集まりをずっと続けたい

令和5年で10周年を迎えました。10年間通っている方が10人もいて、皆さん本当にお元気なんです。市川先生も設立当初から指導していただき、楽しく体操できるよう工夫してくれています。明るく褒めてくれるのもうれしいです。一人一人、その日の体調に合わせてできるのが、長続きしている秘訣だと思います。10年も続くと思っていませんでしたからね。

週1回の活動が、参加者の刺激や息抜きになっているという声も。家族の介護をしていて、この時間が貴重な自分の時間だという方もいます。身体を動かして声を出して笑って、おしゃべりをして。ここへ来るときよりも元気になって帰っていく。身体だけでなく、心の健康にも役立っています。



市川奈津美先生

市川先生の動きに合わせて背筋を伸ばす



ゴムを使って2人1組



あおぞら十周年 2023.10.20

会計 たむら ようこ 田村洋子さん

会長 たむら かずお 田村和雄さん

ポイント1

毎週のプログラムで健康維持・介護予防

ポイント2

笑顔とおしゃべりで心もリフレッシュ

ポイント3

近隣に友人ができて生活に潤いができる

あおぞら

身体を動かしてみんな笑顔

来た時よりも元気になる体操教室



しっかり伸ばして気持ち良くストレッチ!

「あおぞら」は、高齢者の健康年齢の維持・向上を目的とした自主サークルです。毎週金曜日午前9時30分から鎌倉憩い交流館で活動しており、参加者は健康体操や脳トレに励んでいます。活動の始まりは10年前。介護予防を目的として高齢者が集まり、体操教室を始めたことがきっかけでした。今では参加者は20名ほどになり、夫婦で参加する人もいます。インストラクターの楽しい指導のもと、多彩なプログラムで身体を動かし、来た時よりも元気に、笑顔で帰ります。また、この活動は単に身体を動かすだけでなく、地域との「ふれあい」や「支えあい」を通じて、



心の充実感を得る場でもあります。参加者は70代から80代の人が多く、中には90歳の方もいらっしゃいます。毎週の活動を通じて、仲間と笑い合い、自分をたくさん褒めることで、活力を高めています。「楽しいから続けられる」「仲間がいるから続けられる」「人生100年時代、あなたも「あおぞら」で楽しく健康づくりをしてみませんか？」参加を希望される方は地域包括ケア担当課へお問い合わせください。

関連する主なSDGsゴール



障害のある人が仕事帰りや休日を楽しめる「たまり場」を求めてもう20年です

ポムはフランス語の「りんご」。語感から二つ重ねてポムポムに。「未来空間」は、未来に向けて広がっていったら、という思いです。

作業所や特例子会社など、障害がある人たちの就労の場は増えています。しかし、多くの方が自宅と職場の往復だけで終わっているのではないかと、また仕事帰りにふらりと立ち寄って食事をしたり、会話を楽しんだりする機会を必要としているのではないかと感じるようになりました。そこで、自分たちで企画するお出かけの会をしたり、手芸や歌う会など、いろいろな活動に取り組んでいます。ここにきてみんなでお話ししてリフレッシュして、また元気に日常生活に戻れるように。そんな場を作っていけたらと思っています



歌の会では、好きな歌を歌集から選んで伴奏つきで唄います



踊れる曲では踊って表現



曲が流れると笑顔になって身体が弾む自主活動のダンス



年1~2回のペースでミニコンサートを企画



平日の夕方、思い思いに立ち寄って

NPO法人
未来空間ぽむぽむ

障害のある人に豊かな余暇を

くつろげる場所と、

アクティブな自主活動

「未来空間ぽむぽむ」は、障害のある人が、仕事帰りや週末にホッとひと息つける「たまり場」を運営しています。一般企業や就労支援施設で働く方が、夕方や休日にふらりと立ち寄り、仕事の悩みを気軽に相談したり、仲間と語り合ったりする大切な場として、20年以上も葛飾に根づいてきました。

絵や手芸、ペン習字、カラオケなどのアクティビティを通じて、日々のストレスを発散し、気持ちをリフレッシュさせることができますように工夫されています。また、区としてもこの事業を障害者施策推進計画に位置付け、NPO

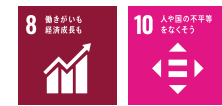


自主活動の手芸。指あみ、クロスステッチと上達も楽しい

法人との協働事業として活動を支えています。区と団体が手を携えて実現したこの活動は、ただの余暇活動にとどまらず、障害のある方が長く働き続けるための大切な「心の安定と居場所」になっています。

ぽむぽむの理念は、「障害のある人もない人も、人として出会い、知り合い、励まし合う空間をつくる」こと。今も昔も変わらないその思いで、利用者やスタッフたちは「当たり前前の生活」を誰もが享受できるように、それぞれの心に寄り添い続けています。

関連する主なSDGsゴール



スタッフ 藤本紗貴さん

理事長 さわよしよ 佐和佳江さん

ポイント1
ふらっと立ち寄れる「たまり場」

ポイント2
楽しみもさまざま「自主活動」

ポイント3
たくさんの人との「出会い」

ここに来れば知り合いがいる
ほっとする空間でありたい

四ツ木駅周辺は自転車が通り抜けるのも難しいくらいの賑やかな商店街でした。それが、この20年くらいでだんだんお店が減ってしまいました。お店の人もお客さんも、一緒に年をとったんですね。

高齢者も、一人暮らしの人は多くないけど、家族が日中仕事に行きひとりぼっちで外にも出ない人がたくさんいました。だから、「ここに来れば誰かと会える」「お話をして笑って楽しむ時間が持てる」と思ってもらえるよう、日々活動しています。

先日、都合で区外に転居した方が、久しぶりにみんなに会いたくて、とサロンにわざわざ来てくれたことがありました。とても嬉しいですし、そのような誰かの心のよりどころでありたいと思っています。

テーブルにはジェンガと黒ひげ危機一発。
適度なスリルが打ちとけあうきっかけに

狙って物をなげる。普段やらない動作が楽しい輪投げ

8月(3B体操) いろんな器具を使って
園児たちと体操しました



ピンクのイメージカラーは
地元でおなじみに



東四つ木のつながり拠点、 高齢者も園児も なごやかに交流する場

東四つ木
ハープさくら会

東四つ木ハープさくら会は、東四つ木地区で「ふれあい」「支え合い」「助けあい」を軸にした、地域住民の憩いの場づくりであるサロン活動を毎月開催しています。高齢者だけでなく、地域の保育園児なども参加し、折り紙や体操、ゲームなどを通じて世代を超えた交流が生まれています。参加者からも「子どもたちがいると元気が出る」と好評です。

会のメンバーは、町会役員や民生委員など地域の方々で構成されており、介護施設職員のサポートが大きな力となっています。職員の声かけをきっかけに、孤立しがちな高齢者も参加するようにしています。

なり、サロンが地域のふれあいの場として広がっています。また、町会の回覧や掲示板、施設へのチラシ配布を通じて活動の周知にも力を入れ、地域からの参加を促しています。



関連する主なSDGsゴール



鈴木幸子さん 高橋恒生さん 浅岡伸一さん
佐藤博子さん 荒木隆一さん

- ポイント1 ひとりぼっちを解消する
- ポイント2 イベントで多世代交流
- ポイント3 多様なプログラム

ずっと葛飾にあるこの学校で、学生の親世代の方に講義をするのはやりがいを感じます

共栄学園の創立は、昭和8年にここ葛飾に設立された和裁塾です。以来、同じ場所で中学・高校を運営しているので、祖母も母も本学出身という生徒もいるようです。

区と連携した公開講座の取組は現在の校舎が竣工した平成16年度から開催されています。担当する講師は、ふだん接している学生の親の世代の方が受講することもあって、緊張感とともにやりがいも感じています。なるべく会場の方とコミュニケーションが取れるように工夫もしています。令和6年度開講の「日本の四季と音楽を味わおう〈夏〉教科書で歌い継がれる日本の歌を中心に」は大変好評で、会場からの歌声が大きく響いて素敵でした。

これからも、地域の皆さまとともに、学びの輪を広げていきたいと考えています。



共栄大学国際経営学部
国際経営学科教授
はやし 雅子さん



共栄学園中学高等学校
教務部副部長
しんのみ よしこ
新免佳子さん



地域に根差した学校ですが、校舎を訪れることはなかなかないので



受講者も歌って参加



◀共栄大学の教育者も専門を伝えられるいい機会に



質疑応答にも熱が入ります



共栄学園の講堂で

学校法人
共栄学園

地域に根差した学園で充実の

公開講座

大学の知識を地域へ、人生を豊かにする学びの場

共栄学園と区生涯学習課が共催する公開講座は、地域の教育と生涯学習の場として、多くの区民に好評を得ています。平成16年度、「葛飾区教育委員会と学校法人共栄学園が共催で実施する公開講座に関する協定書」に基づいて始まり、平成22年度からは「共栄大学春の公開講座」と「秋の公開講座」がかつしか区民大学の単位認定講座として定期的に開催されています。

講座の内容は多岐にわたり、子育てやキャリア形成、戦争と平和を考えるテーマなど、時代に即した幅広い学びの機会を提供しています。共栄大学の教育学部や国際

経営学部の先生方が講師を務め、専門性を活かしたわかりやすい説明で貴重な知見を得られる場となっています。例えば、「健康と持続可能な社会」の講座では、世界では貧困や教育の問題が多くあり、日本がいかにかに恵まれた環境であるかということをお話しました。

会場は普段は入る機会が少ない共栄学園中学高等学校で、特別な環境での学びを楽しむことができます。毎年、区民のニーズを反映したテーマを取り入れた講座は受講者の満足度も高く、今後はオンライン受講の導入も検討しています。



関連する主なSDGsゴール



ポイント1

地域に根ざした学びの場

ポイント2

大学教授による専門講義

ポイント3

多彩なテーマで満足度向上

はじめは地域の体育館から
気軽に家族や友人と始めましょう

オリンピックなどでの日本選手の活躍もあって、卓球人気は高まっています。最近は特に中学生の競技人口が増えていますね。

卓球を始めたい人は、まず奥戸・水元の総合スポーツセンター体育館の個人利用日に来てください。連盟の指導員がラケットの握り方や腕の振り方などの基本から指導します。卓球は2人いればできる競技なので、家族や友だちと一緒に、あるいはチームに入って仲間をつくって楽しむことができます。ラリーが続くようになると、より卓球の楽しさや魅力を実感できると思います。さらに上達すると、「次は大会に出てみよう!」という目標に向かって練習する方もたくさんいます。

卓球は気持ちをリフレッシュできて、心も身体も元気になります。生涯続けられるスポーツとしておすすめです。



会長 横田 允宏さん



副会長・理事長 三上 誠さん

ポイント 1

奥戸・水元の体育館で
気軽に始められる

ポイント 2

区民体育大会などで
実力を試せる

ポイント 3

葛飾区内に友だちができる



早朝から大会準備



開会式～試合準備



大会本部には
さまざまな仕事がある



審判は、出場選手が務める



区民卓球大会

卓球は最良の生涯スポーツ

いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも

卓球は、子どもから高齢者までどなたでも気軽にできるスポーツとして人気があります。ピンポンとラケットを用意するだけで、だれでも同じコートで楽しめる競技です。前後左右に飛んでくるボールを瞬時に判断し、相手のコートに打ち返して得点を重ねていきます。一試合あたり、大体20分以上かかるので、最後まで途切れない集中力も必要とされます。

葛飾区卓球連盟は昭和14年に設立され、80年以上前から、区内で卓球の普及・啓発につとめてきました。現在、区内には卓球のチームが60ほどあり、650名が選手として登録されています。

主な活動は、春秋の区民大会の



試合の様子

ほか、ジュニア、シニア、マスターズなどの大会の運営を担っています。

また、奥戸・水元総合スポーツセンターの体育館では卓球の個人利用の時間に指導員を派遣するなど、競技力の向上とともに、卓球を始めたいと思う方をサポートしています。このほか、オリンピックの吉村真晴選手を招いて一緒に卓球を楽しむイベントを開催するなど、幅広く区民が卓球を楽しめる環境づくりを進めています。

関連する主なSDGsゴール



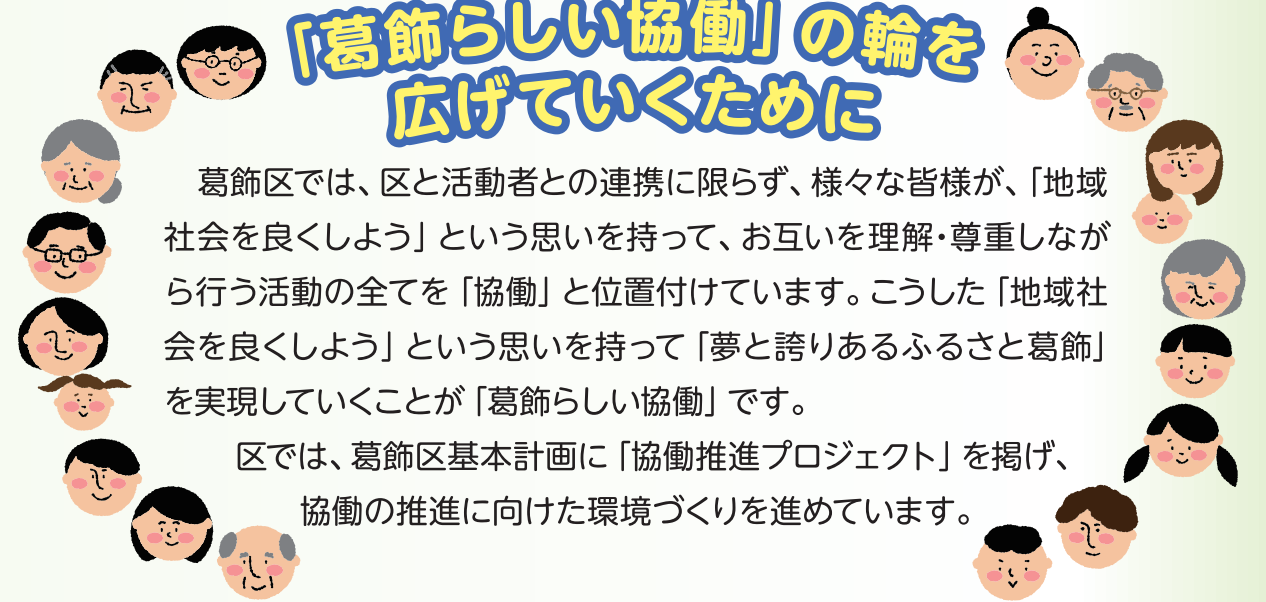
3 協働の活動を支える

地域の協働の活動が安定的かつ持続的に発展できるよう、それぞれの活動者が抱えている課題を把握し、活動者の特性や事業の目的・内容を考慮しながら、必要な支援を進めます。

- 推進に向けた主な取組
- 各種助成・補助金事業（葛飾区地域活動団体事業費助成金 など）
 - 葛飾みんなの協働サイトの運営（再掲）
 - ボランティア・地域貢献活動センターでの各種相談・セミナーなど（葛飾区社会福祉協議会が実施）



「葛飾らしい協働」の輪を広げていくために



葛飾区では、区と活動者との連携に限らず、様々な皆様が、「地域社会を良くしよう」という思いを持って、お互いを理解・尊重しながら行う活動の全てを「協働」と位置付けています。こうした「地域社会を良くしよう」という思いを持って「夢と誇りあるふるさと葛飾」を実現していくことが「葛飾らしい協働」です。

区では、葛飾区基本計画に「協働推進プロジェクト」を掲げ、協働の推進に向けた環境づくりを進めています。

葛飾区基本計画「協働推進プロジェクト」の概要

1 協働意識・郷土意識を醸成する

区の実施や地域で行われている活動など区政や地域の魅力を効果的に発信し、地域への思いを育み、協働意識を醸成しています。

また、協議会、意見交換会、勉強会、交流会などの様々な機会を通じて、地域の課題を共有しながら、地域の魅力を高めるための活動につなげています。

- 推進に向けた主な取組
- 葛飾区協働事例映像の制作・放映、協働事例集の発行
 - 職員出前講座の実施、下町川柳コンクールの実施
 - 「協働のまち葛飾」（広報かつしか）の連載
 - 各種協議会・意見交換会・勉強会・交流会の開催、計画等策定への参画 など

2 協働を広げる・深める

① 協働への「きっかけ」をつくる

地域活動に興味がある方や地域活動に有益な知識・技術を持つ方が、協働の活動をはじめするための「きっかけ」づくりを進めています。

② 協働の可能性を広げる

多様な主体を協働の取組につなげて、様々な分野で新たな取組を生み出し、協働の可能性を広げています。

- 推進に向けた主な取組
- 葛飾みんなの協働サイトの運営
 - 協働による事業の実施（共催・実行委員会・事業協力・後援等）
 - ボランティア・地域貢献活動センターの運営（葛飾区社会福祉協議会による）など

③ つながりを広げる・深める

協働の活動者同士が情報共有や連携し合える環境づくりを進めてつながりを広げ、そのつながりを深めながら協働の取組を活発化させています。

問い合わせ

政策企画課（協働推進担当）

電話 03-5654-8177

メール KYODOU@city.katsushika.lg.jp

FAX 03-5698-1501

第7回(令和5年度) テーマ わたしの幸せ

一般の部

<p>特別賞</p> <p>夕焼けと娘を背負い 七曲り</p> <p>猿戸 あみ</p>	<p>第一生命賞</p> <p>この土地に根付き咲かせる 趣味の花</p> <p>よしこ</p>	<p>葛飾川柳連盟会長賞</p> <p>あくせくも切子でビール 今日の夕</p> <p>愛ちゃんママ</p>	<p>区長賞</p> <p>小言でも言える相手が そばにいる</p> <p>林昌代</p>
---	---	---	--

中学生の部

<p>第一生命賞</p> <p>帝釈天 お参りのあと くさだんご</p> <p>五十嵐羽那</p>	<p>葛飾川柳連盟会長賞</p> <p>柴又で昭和レトロな 食べ歩き</p> <p>佐藤 真奈</p>	<p>教育長賞</p> <p>河川敷 自転車こいで 風感じ</p> <p>ムスカ</p>	<p>区長賞</p> <p>あいさつを交わす近所の あたたかさ</p> <p>みれい</p>
--	--	---	---

小学生の部

<p>第一生命賞</p> <p>この地区は自然いっぱい 葛飾区</p> <p>かなめん</p>	<p>葛飾川柳連盟会長賞</p> <p>せみの声 聞きつつ 食べるかき氷</p> <p>S.S</p>	<p>教育長賞</p> <p>この友と歩む小道は お花道</p> <p>☆ゆきっち☆</p>	<p>区長賞</p> <p>町工場 幸せ作る ものづくり</p> <p>木根川 心春</p>
--	--	---	---

第8回(令和6年度) テーマ かつしか自慢

一般の部

<p>特別賞</p> <p>あのおもちや 実はふるさと 葛飾区</p> <p>エザキアツキ</p>	<p>葛飾川柳連盟会長賞</p> <p>勝つしかと 覚悟締め込む 相撲部屋</p> <p>武井 満智子</p>	<p>区長賞</p> <p>葛の文字 優しく人を 包んでる</p> <p>並木 一徳</p>
--	--	---

中学生の部

<p>葛飾川柳連盟会長賞</p> <p>サッカーの 未来を描く 葛飾区</p> <p>赤点回避</p>	<p>教育長賞</p> <p>葛飾区 未来を創る 我が故郷</p> <p>吉村 柊壺</p>	<p>区長賞</p> <p>葛飾に 歴史伝える 町工場</p> <p>小笠原 楓</p>
--	---	---

小学生の部

<p>葛飾川柳連盟会長賞</p> <p>かつしかの げんきやさいを おかわりだ</p> <p>富永 章太郎</p>	<p>教育長賞</p> <p>葛飾から ち亀、つばさ 世界まで</p> <p>ゆーたん</p>	<p>区長賞</p> <p>キューピーさん 海をわたった セルロイド</p> <p>かつしか区</p>
--	--	--



みんなが「ことば」の力で、つながり、助け合い、葛飾愛を深めていく！
そうした思いを込めて、川柳コンクールを行って
います。
葛飾の魅力が詰まった
作品を紹介します！

お知らせ

第9回(令和7年度)の応募に関する情報は、令和7年夏ごろ公表予定です。

過去の入賞作品につきまは、区公式ホームページをご覧ください。



動画で見る! 葛飾区の協働

地域や事業者の皆様
協働による取組を広く知っ
ていただくため、活動の一
部を映像にまとめました。



DVDは無償で貸出ししています

貸出しを希望される方は、政策企画課 (協働
推進担当) までお問い合わせください。



YouTubeやDVDで
ご覧いただけます



▼区公式ホームページでチェック!

葛飾区 協働映像

令和6年度の掲載団体 (掲載順)



葛飾区職員出前講座



「協働」を進めるためには、まず区の現状や取組などの情報を共有
することが大切です。そこで、区職員が皆様の地域に伺い、区の現状
や取組についてお話しする「職員出前講座」を実施しています。

- 対象** 区内在住・在勤・在学の10名以上の
団体・グループ
- 日時** 午前9時～午後9時の2時間以内
(年未年始を除く)
- 会場** 区内のご希望の場所
(会場については、申込団体・グループでご用意ください。)
- 申込書配布** 区公式ホームページ・区民事務所・
地区センター・図書館など



▼区公式ホームページでも紹介しています。

葛飾区 出前講座



申込方法



オンライン
申請フォーム



1 講座を選ぶ

講座一覧よりご希望の講座をお選びください。
※同時に2つ以上の講座の申込みも可能です。

2 講座の 担当課に 連絡する

受講希望日の20日前までに、講座の担当課にご連絡
ください。なお、日時調整が必要な場合がありますの
で受講希望日を3日程度お伝えください。
※オンライン申請フォームからも申し込めます。

3 申込む

受講希望日を確認後、講座の担当課へ所定の申込書
をご提出ください。
※オンライン申請フォームからの申込みの場合は、申込書の提出は不要です。

4 出前講座実施

区職員が会場へ伺い、お話しします。

※この講座は、政治・宗教・営利活動を目的とした催しには利用できません。
また、区に対する陳情などをお受けする目的で行うものではありませんので、ご理解ください。

オンライン版職員出前講座の配信について

時間や場所にとらわれずに受講できるオン
ライン版の職員出前講座を区公式YouTubeで
配信しています。ぜひ、ご覧ください!



区公式YouTube



葛飾みんなの協働サイト

区内で地域貢献活動をしている自治町会や区民活動団体、NPO、事業者などの皆様が、活動内容やイベント、ボランティア募集などの情報をタイムリーで紹介することができる「葛飾みんなの協働サイト(以下「協働サイト」という。)」を運営しています!

▼フェイスブックをチェック!

葛飾区 みんなの協働サイト 



協働サイトとは?



- フェイスブックのグループ機能を使い、会員同士の投稿を共有(シェア)*する場です。
- 会員は、ご自身のフェイスブックサイトにおいて投稿し、その中から、協働サイトで紹介したい記事を「シェア機能」を使って共有することで、投稿を広く周知することができます。
- 他の団体等の外部向け記事もご自身のページに表示されるようになりますので、区のさまざまな協働の団体等の活動を知ることができるようになります。

*「シェア」とは…自分や他の人が投稿した内容を、自分以外の人(友達やその他多数)に広めること。また、「シェア」する際にコメントを入れて投稿することもできる。

協働サイトへシェアできる内容

活動紹介やイベントの開催、ボランティア募集など、基本的に団体等の活動に関するものであればシェアできます。記事をシェアして広く周知・PRしましょう!

※協働サイトへシェアできないものや禁止事項については、利用規約でご確認ください。

新規会員団体募集中!

協働サイトに登録を希望する場合は、区公式ホームページから申請書をダウンロードし、必要な書類を添えて政策企画課(協働推進担当)までご提出ください。



詳細は、区公式ホームページをご覧ください。



葛飾協働まちづくり表彰

区内において、地域をより良くし、区民福祉の向上に寄与する活動に尽力されている方や団体、事業者の皆様の功績を称えて、葛飾協働まちづくり表彰を行っています。



令和5年度の表彰された団体等(50音順・敬称略)

団体・グループ

- アイリストレニング(筋力向上トレーニング)自主グループ
- 青戸商店会連合会
- 一般社団法人 葛飾青色申告会
- 葛飾間税会
- 葛飾区アーチェリー協会
- 葛飾区合気道連盟
- 葛飾区空手道連盟
- 葛飾区食品衛生協会
- 葛飾区フォークダンス連盟
- 葛飾区ラジオ体操連盟
- NPO法人 かつしか子ども劇場

葛飾清掃協力会婦人部会

- 葛飾納税貯蓄組合連合会
- 葛飾東清掃協力会婦人部会
- 公益社団法人 葛飾法人会
- 葛飾細田中野かんらん保存会
- 金町WRAP
- 社会福祉法人共生会 希望の家
- 新小岩駅東北ひろばまつり実行委員会
- 新小岩えきひろフェスティバル実行委員会
- 高砂一丁目町会

事業者

- まいづれ葛飾

▼区公式ホームページでも紹介しています。

葛飾区 協働表彰 



「幸せ かつしか」をめざして

区では、区の持続可能な発展を実現するため、令和5年3月に「葛飾区SDGs推進計画」を策定し、その中の「SDGsかつしか未来プロジェクト」に関連する具体的な事業を葛飾区中期実施計画に位置付け、SDGsの取組の推進や普及・理解促進を図っています。

今後も、区民・事業者等の連携・協働を強化し、「持続可能な『幸せ かつしか』」の実現をめざしていきます。



SDGs推進に向けた主な取組

区民や事業者の方に向けて、SDGsの概要や区の取組をご紹介します。

職員出前講座

(オンライン版「教えて!せりさんSDGsってなに?」もあります)



動画はこちらから

区公式ホームページやSNSでの

SDGs情報の発信

各種イベントでのパネル展示 など

そのほか、職員研修を行い、SDGsへの理解を深め、行動できる職員を育成しています。

「SDGs宣言事業」を行っています。

事業者の方を対象として、SDGsの達成に貢献する活動の取組事例(葛飾区SDGs宣言)を募集し、区公式ホームページなどで情報発信しています。



葛飾区SDGs宣言受付



あなたの一步で世界は変わる!

「SDGs=世界(地球規模)の話」と敬遠してしまう方も多いのではないのでしょうか。SDGsは国や自治体だけでなく、個人や事業者ができる取組もたくさんあります。一つ一つの行動が積み重なれば、社会を変える大きな力になります。

STEP 1 知る: まずは興味のあるゴールについて調べてみましょう。STEP 2 考える: 自分にできることを考えてみましょう。STEP 3 行動する: 考えたことを実践してみましょう。 Includes a QR code for examples.

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは?

2030年までに持続可能でより良い世界の実現をめざす国際目標のことです。貧困や教育、気候変動など達成すべき17のゴールがあります。

17のゴールの概要はこちら!

- 1 貧困をなくそう: 生活に困る、貧しい人がいないようにしましょう。2 飢餓をゼロに: みんなが栄養のある食べ物を十分に食べられるようにしましょう。3 すべての人に健康と福祉を: 赤ちゃんからお年寄りまで、みんなが健康に生きられるようにしましょう。4 質の高い教育をみんなに: 世界中の人が学べる環境を作ろう。5 ジェンダー平等を実現しよう: 「男だから」「女だから」、そんな時代はもうおしまいにしよう。6 安全な水とトイレを世界中に: みんなが安全な飲み水とトイレを使えるようにしましょう。7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに: 自然にやさしいエネルギーを、世界中の人々に届けよう。8 働きがいも経済成長も: 経済成長を進め、みんなが人間らしい仕事をして、もっと世界を良くしよう。9 産業と技術革新の基礎をつくろう: 新しい技術を使えるようにしましょう。10 人や国の不平等をなくそう: 人と人の平等、国と国の平等を守っていこう。11 住み続けられるまちづくりを: みんなが住みやすいまちをつくろう。12 つくる責任つかう責任: 環境も健康も守れるように、ものを作ったり使ったりしよう。13 気候変動に具体的な対策を: これ以上、地球を暑くしないための行動を起こそう。14 海の豊かさを守ろう: 魚を獲りすぎず、ごみを減らし、海と海の生き物を守っていこう。15 陸の豊かさを守ろう: 陸の環境を守り、多様な生き物が生き続けられるようにしましょう。16 平和と公正をすべての人に: 争いのない平和な世界をみんなで作ろう。17 パートナリープで目標を達成しよう: みんなで目標を達成しよう。

本冊子では、各団体の活動内容に関連する主な「SDGsゴール」のアイコンを掲載しています。

問い合わせ

政策企画課(SDGs推進担当) 電話 03-5654-8142 FAX 03-5698-1501

メール sdfs@city.katsushika.lg.jp

区公式ホームページ(SDGsの達成に向けて)



災害ボランティア活動支援体制づくり 災害ボランティア活動支援

葛飾区社会福祉協議会は、区と締結している「災害時におけるボランティア活動に関する協定」に基づき、区内で大規模災害が発生した場合に、災害ボランティアの活動拠点となる災害ボランティアセンターを設置します。そのため、日頃から、災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練や各種講座などを通じて、災害時対策や災害ボランティア活動支援を行っています。



- 災害ボランティア講座
- 災害ボランティア体験講座
- 災害ボランティアセンター設置・運営訓練
(災害時に必要となるボランティア活動などを体験)
- 災害ボランティア登録制度
- 普及啓発活動
- 災害支援三者交流会
(ボランティア団体やNPO法人、関係機関との連携体制づくりなど)

福祉・ボランティア出前講座

地域や学校へ講師を派遣し、車いす体験や手話など、さまざまな講座を開催して、福祉やボランティアに関する普及啓発を行っています。



その他の事業

- ボランティア講座
- ボランティア相談
- 福祉教育推進活動
- ハンディキャブ運行事業

詳細は

ホームページを
ご覧ください。



葛飾 社協 ボランティア

社会福祉法人
葛飾区社会福祉協議会

ボランティア・地域貢献活動センター

開設日時

月曜日～金曜日・第1・3土曜日
午前8時30分から午後5時まで(第2・4・5土曜日・日曜日/祝日・年末年始を除く)

場所

東京都葛飾区堀切3-34-1 ウェルピアカツしか1階

問い合わせ

電話 03-5698-2511 FAX 03-5698-2513 メール vc@katsushika-shakyo.com

ボランティアやNPO活動についての相談窓口

ボランティア・地域貢献活動センター

「ボランティア・地域貢献活動センター」は、ボランティア活動をしたい方と、ボランティアを必要とする方をつないでボランティア活動の輪を広げます。また、ボランティア団体やNPO法人などを支援するとともに、葛飾区内の地域貢献活動の活性化を図るために講座や交流会なども開催しています。



区内のさまざまなボランティア活動を紹介! かつしかボランティアまつり

ボランティア団体、NPO法人などの紹介や活動をPRするため、年1回、秋に実施しています。参加団体には「他の団体との交流」、来場者には「ボランティア活動について知ってもらい、活動に参加するきっかけ」の場となっています。

令和6年度はボランティアやNPO法人など各団体の周知・啓蒙ブースを設置いたしました。各団体、体験などを盛り込んだ内容でアピールしていて、ポッチャ体験では熱中して体験される方がたくさんいました。



その他、講演会では災害や避難所のことを学び、実際に避難所で使われているテントや段ボールベッドの組み立て体験を行いました。

「はじめたい、継続したい」を支援! 地域貢献活動サポート事業

職員や専門家による 相談事業

一般相談

活動方法、団体の結成や運営、NPO法人の設立などの相談

専門家による相談

団体を運営する上で必要な税務、会計など、専門的な相談(予約制)



ボランティア・ NPO入門講座

(かつしか区民大学単位認定講座)

地域貢献活動をこれから始めたい方、基礎的な知識を学びたい方向けの講座

交流会

令和6年度は法律や税務などのほか、ひきこもりなど関心の高いテーマを開催。団体やNPOが地域と交流して、活動を知ってもらう場として「地域貢献活動フェア」を開催。

協働関係の構築

個人や団体、各関係機関との連携及び協働関係構築のサポート

情報の収集と発信

情報誌「かつしかゴト。」の発行、メルマガやSNSの発信